

No.241002

研究課題名	原発性肝臓に対する重粒子線治療の治療成績に関する研究
研究目的・方法	当センターにおいて原発性肝臓に対して重粒子線治療を行った症例の治療成績がまだ明らかになっていない。そこで大阪重粒子線センターで原発性肝臓に対して重粒子線治療を行った患者を対象に、後方視的にデータ（患者背景や病状、治療計画、予後や副作用情報など）を収集する。そして Kaplan-Meier 法を用いて局所制御率や無再発生存率、がん特異的生存率、全生存率を算出する。また多変量解析や決定木解析をもちいて、予後予測モデルを開発する。さらに CTCAE にもとづいて有害事象の重篤度も求める。これらにより当センターにおける原発性肝臓にたいする重粒子線治療の治療成績を示す。
研究期間	2024 年 11 月 6 日～ 2028 年 12 月 30 日
研究対象者	2018 年 12 月から 2024 年 9 月までに当該研究機関を受診した原発性肝臓患者で以下の適格基準を満たし、除外基準に抵触しないものを対象とする。 <適格基準> ・ 紹介医にて肝臓診療ガイドラインに基づき原発性肝臓と診断された者 ・ 同意取得時の年齢が 18 歳以上である者 <除外基準> ・ 妊娠中または授乳中の者 ・ 重度の肝機能障害がある者 ・ その他、研究責任者・研究分担者が不適と認めた者
利用する情報	データベース及びカルテに記録されている臨床情報、治療計画の画像等
研究責任者	鈴木 修